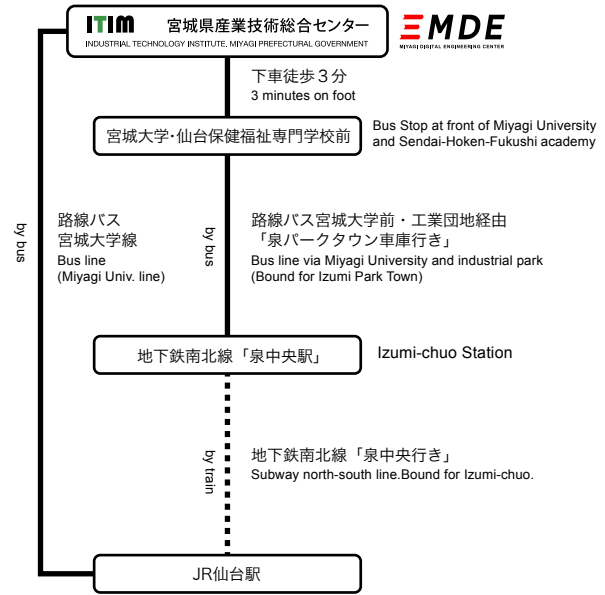


交通アクセス Access

みやぎデジタルエンジニアリングセンター（MDE）は宮城県産業技術総合センター内に設置されています。

電車、バスをご利用の場合 If coming by train and bus



お車でお越しの場合 If coming by car

- 東北自動車道 泉インターチェンジから約15分
- 泉PAスマートインターチェンジ（ETC専用）から約8分
- 仙台駅から約40分

About 15 minutes from Izumi Interchange off the Tohoku Expressway.
About 40 minutes from Sendai Station.

飛行機をご利用の場合 If coming by plane

- 仙台空港から、仙台空港アクセス鉄道等で J R 仙台駅へ行きます。仙台駅からは上記の「電車、バスご利用の場合」の欄を参照してください

From Sendai Airport, take the train, etc. to JR Sendai Station, from there please refer to the "if coming by train and bus" section.



MDE・デジタルエンジニアリング関連のお問い合わせは下記まで

ver.20180628

ITIM 宮城県産業技術総合センター
INDUSTRIAL TECHNOLOGY INSTITUTE, MIYAGI PREFECTURAL GOVERNMENT

【みやぎデジタルエンジニアリングセンターとは】
宮城県産業技術総合センターでは 2016 年より「みやぎデジタルエンジニアリングセンター（略称：MDE）」を開設し、高度デジタルエンジニアの育成強化事業を行っています。MDE では、人材育成事業、研究会事業、個別課題解決の3つの事業を実施し、県内の産業高度化の支援を行います。

※みやぎデジタルエンジニアリングセンターは宮城県および宮城県産業技術総合センターが企画・運営しています。

〒981-3206 宮城県 仙台市泉区明通2-2
TEL：022-377-8700 FAX：022-377-8712
<http://www.mit.pref.miyagi.jp/>

企画・事業推進部 商品開発支援班まで

E-mail | miyagi-de@mit.pref.miyagi.jp

Industrial Technology Institute, Miyagi Prefectural Government

Address: 2-2,Akedohri,Izumi-ku,Sendai-shi,Miyagi-ken,981-3206,JAPAN.

Phone:+81-22-377-8700 Fax:+81-22-377-8712



みやぎデジタルエンジニアリングセンター
MIYAGI DIGITAL ENGINEERING CENTER

みやぎデジタルエンジニアリングセンター

3Dプリンター活用による製品開発が世界的に急速に進展する中、宮城県産業技術総合センターでは、同センター内に「みやぎデジタルエンジニアリングセンター（略称：MDE）」を開設し、高度デジタルエンジニアの育成事業強化を行います。このMDEでは、最新鋭の3Dプリンターや3次元CAD環境を整備し、3Dプリンターや3次元CADを高度に活用した製品開発を行うことのできる高い競争力を持つ人材育成拠点として運用を開始します。

また、MDEでは、人材育成事業、研究会事業、個別課題解決事業の3つの事業を実施し、ハードおよびソフトの両面から、県内の産業高度化の支援を行います。

※本事業は宮城県および宮城県産業技術総合センターが企画・運営しています。
※みやぎデジタルエンジニアリングセンターは宮城県産業技術総合センター内に設置されています。

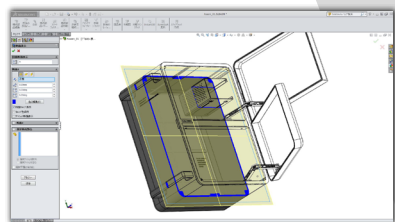


EQUIPMENT

▶ **DE 関連機器** 各種デジタルエンジニアリング関連機器で次世代型ものづくりをご支援します。

3D-CAD 設計

3次元CADシステム
(SOLIDWORKS, CATIA, Rhinoceros, Fusion 360)



RP 試作

3D プリンター
光造形機 (iPro8000, ProJet6000)
熱溶解積層方式 (L-DEVO)
レーザーカッター (Speedy100)



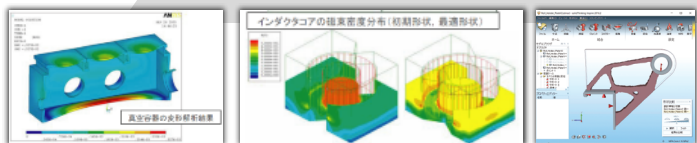
CAM 加工

5軸マシニングセンター (HSM 400U LP)
切削加工制御 (MasterCAM)



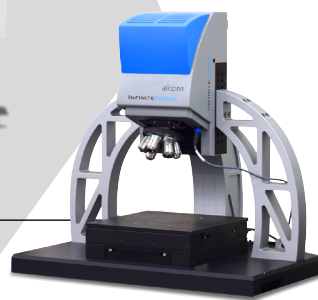
CAE 解析

磁場解析 (Maxwell3D)
構造解析・伝熱解析等 (ANSYS/Multiphysics)
樹脂流動解析 (Moldex3D)・光学解析 (ZEMAX)
トポロジー最適化 (solidThinking Inspire)



CAT 検査

画像光学式3次元デジタイザ (COMET5)
三次元座標測定機 (UPMC550CARAT)
マイクロフォーカスX線CT装置 (ScanXmate-D225RSS270)
超精密三次元形状評価装置 (インフィニートフォーカス G4)



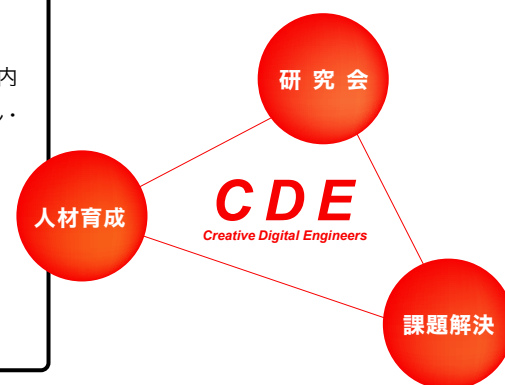
※各種機器の利用には手数料・使用料が必要になる場合があります。
※機器の詳細についてはWEB (http://www.mit.pref.miyagi.jp/kiki/index.html) をご参照頂くか、右記お問い合わせメール窓口までご連絡下さい。

▶ MDE の目標 —OUR VISION—

MDE で実施する「人材育成事業」「研究会事業」「個別課題解決事業」を通して、県内企業の産業高度化（次世代型ものづくり）の原動力となるクリエイティブ・デジタル・エンジニア (CDE) を育成し、ニッチトップ企業を創出することを目標としています。

●クリエイティブ・デジタル・エンジニア (CDE) とは？

1. 潜在ニーズを自ら発見し、課題を解決する商品の企画立案のできる人材。
2. デジタルツールを駆使し、プロダクトデザインから設計まで行える人材。
3. 機械工学、材料工学、電子工学等の工学的分野に精通した人材。



TRAINING

▶ 人材育成

CAD の応用操作と設計技術の応用を中心に商品開発に必要な高いスキルを学ぶ研修をコース別に実施していきます。各社のニーズに合わせた「カスタム研修」も実施致します。(各コース有料)

研修の詳細・スケジュール ▶ <http://www.mit.pref.miyagi.jp/mde/>

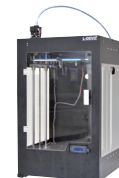
WORKSHOP

▶ 研究会

産学官の連携により、技術課題の共有や、先行実験、先端技術セミナーなどの場を通じて、相互連携が可能なネットワーク構築を行います。

DDM 研究会

DDM (ダイレクトデジタルマニュファクチャリング) の可能性を模索する研究会です。3Dプリンターやマテリアル、3D-CAD などに
関する情報交換や試作・実験を通して、ものづくり改革の糸口を探していきます。



金属粉末方式3Dプリンター研究会

金属粉末方式3Dプリンターの可能性を模索する研究会です。最新情報や世界の技術動向はもちろん、試作・後加工・検査などを通して、生きた知識とノウハウを学んでいきます。



SOLUTION

▶ 課題解決

各企業の製品開発における課題を、専任のスタッフが MDE の設備・技術・知識を活用して解決に取り組んでいきます。(個別相談・案件によって有料)

研修実施前後のフォローアップ

研修受講に必要な 3D-CAD の予習指導や復習環境の提供など、新たな技術・知識習得に向けて、専任スタッフが個別にサポート致します。

個別製品開発のフォローアップ

各企業で取り組んでいる新製品開発案件を、デジタルエンジニアリング設備・技術・知識を活かして、個別にご支援致します。

人材育成・研究会・課題解決のご相談は下記まで。専任スタッフがご対応します。

お問い合わせメール窓口 miyagi-de@mit.pref.miyagi.jp